

第2回 東四つ木在宅サービスセンター運営推進会議 報告書

開催日時	平成 29 年 2 月 17 日(金) 16 時 00 分～17 時 30 分		
開催場所	東四つ木在宅サービスセンター デイルーム		
参加者	区分	職名	氏名
	利用者及び家族	利用者	1名
		利用者家族	3名
	家族会代表	コスモス家族会	2名
	地域住民の代表	・自治会	3名
		・民生委員	8名
	地域包括支援センター	高齢者総合相談センター 東四つ木 相談員	1名
	知見を有する者	奥戸在宅サービスセンター 所長	1名
センター職員	所長 他	5名	

(内容)

- 1、所長 挨拶
- 2、職員の自己紹介
- 3、運営推進会議の目的
- 4、法人の紹介
- 5、施設の紹介及び登録人数 平均年齢、平均介護度 、利用率(平成28年9月～)
- 6、行事(平成28年8月～)
- 7、認知症ケア(本人に寄り添うケア)
- 8、研修、防災訓練
- 9、家族会及び地域活動(地域交流やボランティア等)
- 10、ヒヤリハット、事故報告(平成28年度9月～)
- 11、ご意見、要望及び質疑応答
- 12、次回の予定 平成 29 年 9 月頃

ご意見、要望、質疑応答等

氏名	内容	事業所の回答
利用者家族	通所の方と認知症の方は活動を一緒に活動しているのか？	機械的には分けてはいない。一人一人の方の希望に合わせて活動に参加して頂いている。また、認知症の方の特性に合わせて、認知症のある方を中心の活動も同時に行っています。個別に対応が必要な方には、職員が個別に対応している。
民生委員	ヒヤリハットや、事故報告書は当事者の職員が書いているのか？ また、その報告書は理事長まで見ているのか？	ヒヤリハット、事故報告とも、事実がわかるようにその職員が記載している。 理事長への報告は、内容によりすぐに報告するものと、ヒヤリハットのようにまとめた資料を報告するものがある。
民生委員	ヒヤリハットや事故報告をこのような場所で発表しオープンにすることは、大変良いことだと思う。通常、隠してしまう施設もあるが、オープンにしてもらえることで逆に信頼ができる。	
利用者家族	数年前の東日本大震災のときの様子は？	設備的に大きな被害はなかった。（後日壁のひび割れ等が数箇所見つけた。） 時間帯が 15 時頃だったので、センターのお茶の時間でもあり、利用者の方がまとまって座っていたので事故もなかった。 認知症の方は少し混乱した方がいて、座席についていただくとしても、歩き出してしまう方がいた。 電話は不通となっている時間が長かったが、送迎は通常通り行き支障はなかった。 後日わかったことだが都営住宅の方で、家族に引き継いだあとにエレベーターが止まってしまい苦労されたという報告が 1 件あった。 東日本大震災後から防災意識が高まり、BCP作成等にも取り組んでいる。